

大阪市の推計人口年報（平成30年）

～平成30年10月1日現在の推計人口と1年間の人口異動の動向～

平成30年11月

大 阪 市

目 次

1	人 口 総 数	1
2	男 女 別 人 口	1
3	世 帯 数	2
4	区 別 人 口	2
5	区 別 世 帯 数	5
6	人 口 異 動	7
7	年 齢 別 人 口	12

《利用上の注意》

・推計方法について

推計人口（毎月1日現在）は、平成24年7月までは、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の増減を国勢調査結果の人口に加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の増減を加減して算出している。本資料は平成27年国勢調査結果による推計人口である。

・人口異動について

推計人口においては、出生と死亡の差を自然動態（自然増減）とし、転入と転出の差にその他の増減を加減したものを社会動態（社会増減）とした。その他の増減とは、実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数である。転入、転出は市内の区相互間を含んでいる。

人口異動の自然増減率、出生率、死亡率、社会増減率、転入率、転出率は、前年10月1日現在の人口1000人に対する割合（千分比）である。※ 単位：‰（パーミル）

・年齢別人口について

年齢別人口は、平成24年7月までは、国勢調査結果の年齢、男女別人口を基準に、「住民基本台帳」及び「外国人登録」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出し、平成24年8月以降は、外国人住民が住民基本台帳に含まれることから、「住民基本台帳」の月々の年齢、男女別人口異動を加減して算出した。

1 人口総数

平成 30 年 10 月 1 日の大阪市の推計人口は 272 万 5006 人で、前年（平成 29 年 10 月 1 日）と比べると 1 万 1849 人（0.4%）の増加となった。

表 1 人口の推移

年次	人口 (人)	増減数 (人)	増減率 (%)
平成20年	2,650,670	7,816	0.3
21年	2,659,796	9,126	0.3
22年	2,665,314	5,518	0.2
23年	2,668,972	3,658	0.1
24年	2,674,154	5,182	0.2
25年	2,678,663	4,509	0.2
26年	2,679,808	1,145	0.0
27年	2,691,185	11,377	0.4
28年	2,702,033	10,848	0.4
29年	2,713,157	11,124	0.4
30年	2,725,006	11,849	0.4

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

2 男女別人口

平成 30 年の人口を男女別にみると、男性が 131 万 5742 人、女性が 140 万 9264 人となっている。

男女別の人口を平成 29 年と比べると、男性が 4457 人（0.3%）増、女性が 7392 人（0.5%）増とそれぞれ増加している。人口性比（女性 100 人に対する男性の数）は 93.4 となっている。

表 2 男女別人口の推移

年次	男（人）		女（人）		性比
		増減数（人）		増減数（人）	
平成20年	1,287,428	2,832	1,363,242	4,984	94.4
21年	1,291,950	4,522	1,367,846	4,604	94.5
22年	1,293,798	1,848	1,371,516	3,670	94.3
23年	1,294,751	953	1,374,221	2,705	94.2
24年	1,296,740	1,989	1,377,414	3,193	94.1
25年	1,297,931	1,191	1,380,732	3,318	94.0
26年	1,297,452	△ 479	1,382,356	1,624	93.9
27年	1,302,562	5,110	1,388,623	6,267	93.8
28年	1,307,162	4,600	1,394,871	6,248	93.7
29年	1,311,285	4,123	1,401,872	7,001	93.5
30年	1,315,742	4,457	1,409,264	7,392	93.4

1 **太字**は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口。

2 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口の増減数と後述の人口異動の増減数とは一致しない。

3 世帯数

平成 30 年の世帯数は 141 万 2983 世帯で、1 世帯当たり人員は 1.93 人となっている。

これを平成 29 年と比べると、2 万 83 世帯 (1.4%) の増加となっている。

1 世帯当たり人員は減少傾向にあり、平成 29 年の 1.95 人からさらに減少し、平成 30 年では 1.93 人となった。

表 3 世帯数の推移

年次	世帯数 (世帯)	増減数 (世帯)		増減率 (%)	1 世帯当たり 人員 (人)
		増減数 (世帯)	増減率 (%)		
平成20年	1,289,751	16,027	1.3	2.06	
21年	1,305,639	15,888	1.2	2.04	
22年	1,317,990	12,351	0.9	2.02	
23年	1,324,740	6,750	0.5	2.01	
24年	1,332,002	7,262	0.5	2.01	
25年	1,338,910	6,908	0.5	2.00	
26年	1,345,055	6,145	0.5	1.99	
27年	1,354,793	9,738	0.7	1.99	
28年	1,373,670	18,877	1.4	1.97	
29年	1,392,900	19,230	1.4	1.95	
30年	1,412,983	20,083	1.4	1.93	

太字は国勢調査結果。その他は各年10月1日の推計人口による。

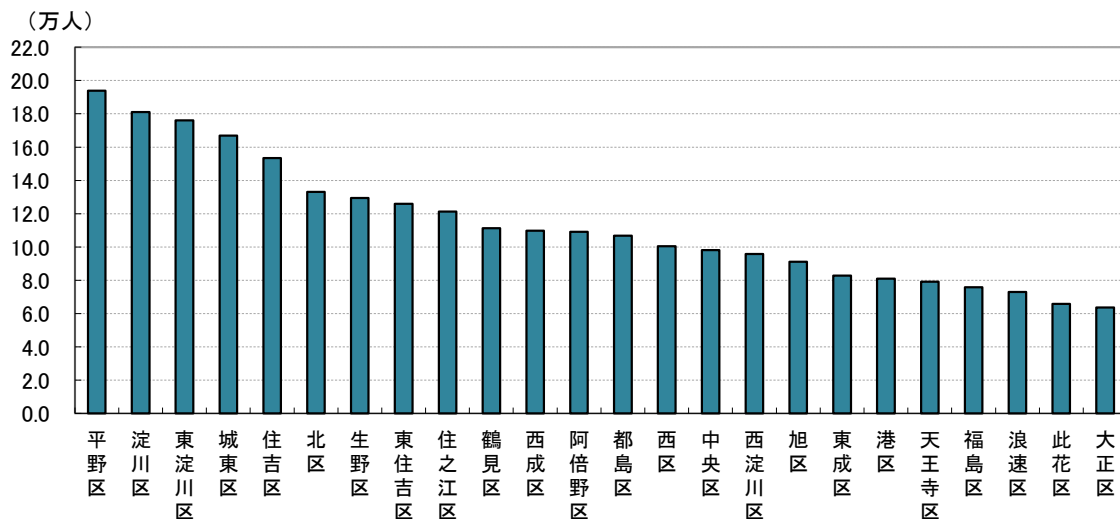
4 区別人口

平成 30 年の人口を区別にみると、平野区が 19 万 3925 人と最も多く、次いで淀川区が 18 万 998 人、東淀川区が 17 万 6031 人、城東区が 16 万 6852 人、住吉区が 15 万 3361 人と続いている。

この 1 年間の人口増減数を区別にみると、北区が 3711 人と最も多く、次いで西区が 2770 人、淀川区が 1862 人など、引き続き市域中心部を中心に増加している一方、平野区が 1030 人減と最も少なく、次いで西成区が 646 人減、大正区が 614 人減、此花区が 448 人減、住之江区が 421 人減と続いている。

人口増減率は北区が 2.9% と最も高く、次いで西区が 2.8%、福島区が 2.0%、中央区が 1.7%、東成区が 1.2% など、人口増減数と同様に市域中心部で高くなっている一方、大正区が 1.0% 減と最も低く、次いで此花区が 0.7% 減、西成区が 0.6% 減、平野区が 0.5% 減、住之江区、鶴見区が 0.3% 減と続いている。

図1 区別の推計人口



平成30年10月1日現在推計人口による。

表4-1 区別推計人口

区名	人口 (人)		対前年 (平成29年)	
	平成30年	平成29年	増減数 (人)	増減率 (%)
大 阪 市	2,725,006	2,713,157	11,849	0.4
北 区	133,123	129,412	3,711	2.9
都 島 区	106,858	106,523	335	0.3
福 島 区	75,896	74,381	1,515	2.0
此 花 区	65,914	66,362	△ 448	△ 0.7
中 央 区	98,094	96,438	1,656	1.7
西 区	100,437	97,667	2,770	2.8
港 区	81,076	81,065	11	0.0
大 正 区	63,741	64,355	△ 614	△ 1.0
天 王 寺 区	79,177	78,372	805	1.0
浪 速 区	72,991	72,350	641	0.9
西 淀 川 区	95,749	95,518	231	0.2
淀 川 区	180,998	179,136	1,862	1.0
東 淀 川 区	176,031	175,827	204	0.1
東 成 区	82,857	81,881	976	1.2
生 野 区	129,379	129,693	△ 314	△ 0.2
旭 区	91,072	91,069	3	0.0
城 東 区	166,852	166,242	610	0.4
鶴 見 区	111,268	111,563	△ 295	△ 0.3
阿 倍 野 区	109,172	108,642	530	0.5
住 之 江 区	121,364	121,785	△ 421	△ 0.3
住 吉 区	153,361	153,350	11	0.0
東 住 吉 区	125,907	126,161	△ 254	△ 0.2
平 野 区	193,925	194,955	△ 1,030	△ 0.5
西 成 区	109,764	110,410	△ 646	△ 0.6

各年10月1日現在推計人口。

表4-2 人口増減数（上位7区）

順位	平成27年～28年		平成28年～29年		平成29年～30年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西区	3,092	北区	3,429	北区	3,711
2	中央区	2,388	西区	2,145	西区	2,770
3	北区	2,316	浪速区	1,349	淀川区	1,862
4	淀川区	1,667	淀川区	1,268	中央区	1,656
5	天王寺区	1,561	東成区	1,148	福島区	1,515
6	浪速区	1,235	天王寺区	1,082	東成区	976
7	都島区	1,052	福島区	1,029	天王寺区	805

表4-3 人口増減数（下位7区）

順位	平成27年～28年		平成28年～29年		平成29年～30年	
	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）	区名	増減数（人）
1	西成区	△ 958	平野区	△ 800	平野区	△ 1,030
2	平野区	△ 878	住吉区	△ 519	西成区	△ 646
3	住之江区	△ 793	西成区	△ 515	大正区	△ 614
4	港区	△ 484	港区	△ 486	此花区	△ 448
5	大正区	△ 469	住之江区	△ 410	住之江区	△ 421
6	住吉区	△ 370	旭区	△ 389	生野区	△ 314
7	生野区	△ 329	大正区	△ 317	鶴見区	△ 295

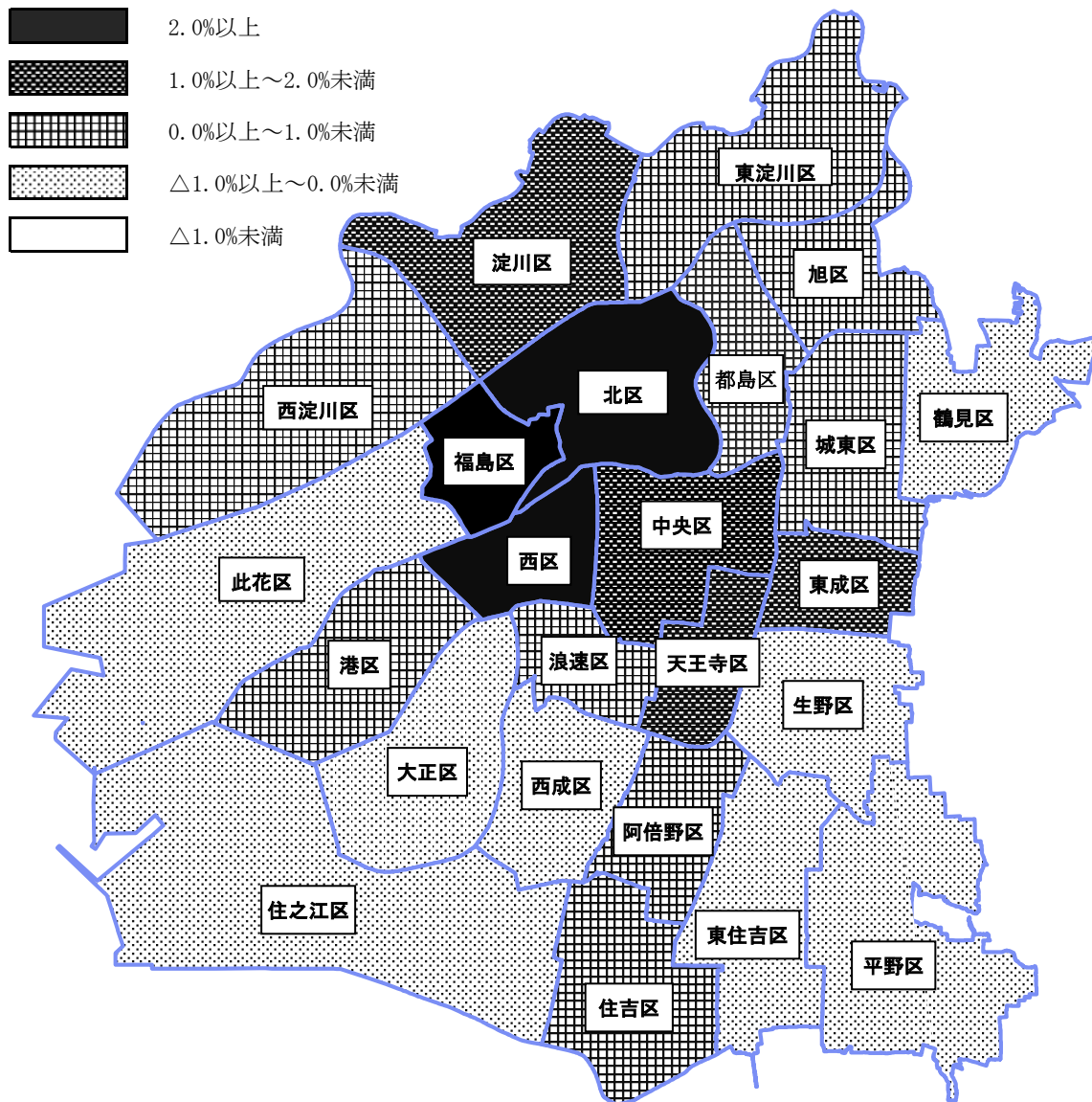
表4-4 人口増減率（上位7区）

順位	平成27年～28年		平成28年～29年		平成29年～30年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	西区	3.3	北区	2.7	北区	2.9
2	中央区	2.6	西区	2.2	西区	2.8
3	天王寺区	2.1	浪速区	1.9	福島区	2.0
4	北区	1.9	東成区	1.4	中央区	1.7
5	浪速区	1.8	福島区	1.4	東成区	1.2
6	福島区	1.2	天王寺区	1.4	淀川区	1.0
7	都島区	1.0	中央区	1.0	天王寺区	1.0

表4-5 人口増減率（下位7区）

順位	平成27年～28年		平成28年～29年		平成29年～30年	
	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）	区名	増減率（%）
1	西成区	△ 0.9	港区	△ 0.6	大正区	△ 1.0
2	大正区	△ 0.7	大正区	△ 0.5	此花区	△ 0.7
3	住之江区	△ 0.6	西成区	△ 0.5	西成区	△ 0.6
4	港区	△ 0.6	旭区	△ 0.4	平野区	△ 0.5
5	平野区	△ 0.4	平野区	△ 0.4	住之江区	△ 0.3
6	此花区	△ 0.4	住吉区	△ 0.3	鶴見区	△ 0.3
7	生野区	△ 0.3	住之江区	△ 0.3	生野区	△ 0.2

図2 区別人口増減率の分布（平成29年～30年）



5 区別世帯数

平成30年の世帯数を区別にみると、淀川区が9万9874世帯と最も多く、次いで東淀川区が9万6308世帯、平野区が9万1178世帯、北区が8万383世帯、城東区が7万9448世帯と続いている。世帯数が最も少ない区は大正区の2万9674世帯で、次いで此花区が3万1505世帯、天王寺区が4万66世帯と続いている。

この1年間の世帯数の増減数を区別にみると、北区が2427世帯と最も多く、次いで西区が2122世帯、淀川区が1886世帯、東成区が1231世帯と続いております、市内全区で増加となっている。

世帯数の増減率では、西区が3.8%と最も高く、次いで北区が3.1%、東成区が3.0%、福島区が2.9%と、市域中心部で高くなっている。

1世帯当たり人員をみると、鶴見区が2.35人と最も多く、次いで大正区が2.15人、西淀川区が2.14人、平野区が2.13人と続いている。一方、最も少ない区は浪速区の1.44人であり、次いで中央区が1.56人、西成区が1.57人と続いている。

表5-1 区別世帯数

	世帯数（世帯）		対前年（平成29年）		1世帯当たり 人員（人）
	平成30年	平成29年	増減数（世帯）	増減率（%）	平成30年
大阪市	1,412,983	1,392,900	20,083	1.4	1.93
北 区	80,383	77,956	2,427	3.1	1.66
都 島 区	54,424	53,790	634	1.2	1.96
福 島 区	40,201	39,069	1,132	2.9	1.89
此 花 区	31,505	31,309	196	0.6	2.09
中 央 区	62,681	61,558	1,123	1.8	1.56
西 区	57,766	55,644	2,122	3.8	1.74
港 区	40,981	40,505	476	1.2	1.98
大 正 区	29,674	29,561	113	0.4	2.15
天 王 寺 区	40,066	39,604	462	1.2	1.98
浪 速 区	50,595	49,925	670	1.3	1.44
西 淀 川 区	44,732	43,985	747	1.7	2.14
淀 川 区	99,874	97,988	1,886	1.9	1.81
東 淀 川 区	96,308	95,174	1,134	1.2	1.83
東 成 区	42,949	41,718	1,231	3.0	1.93
生 野 区	66,128	65,351	777	1.2	1.96
旭 区	44,533	44,128	405	0.9	2.05
城 東 区	79,448	78,478	970	1.2	2.10
鶴 見 区	47,356	47,076	280	0.6	2.35
阿 倍 野 区	51,650	51,145	505	1.0	2.11
住 之 江 区	58,323	57,851	472	0.8	2.08
住 吉 区	73,184	72,401	783	1.1	2.10
東 住 吉 区	59,333	58,747	586	1.0	2.12
平 野 区	91,178	90,536	642	0.7	2.13
西 成 区	69,711	69,401	310	0.4	1.57

各年10月1日現在推計人口。

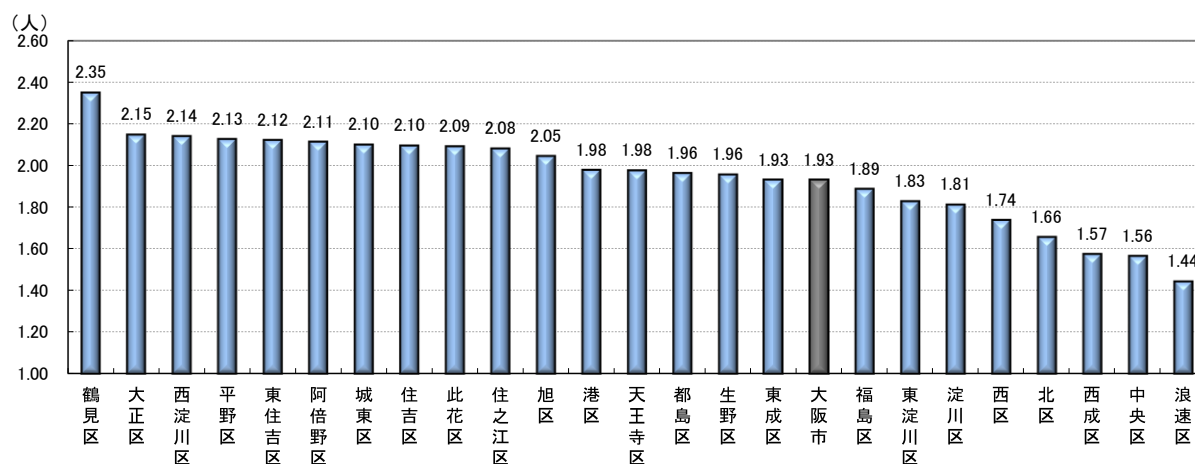
表5-2 世帯数及び1世帯当たり世帯人員（上位・下位5区）

世帯数（世帯）			
上位5区		下位5区	
淀川区	99,874	大正区	29,674
東淀川区	96,308	此花区	31,505
平野区	91,178	天王寺区	40,066
北区	80,383	福島区	40,201
城東区	79,448	港区	40,981

1世帯当たり世帯人員(人)			
上位5区		下位5区	
鶴見区	2.35	浪速区	1.44
大正区	2.15	中央区	1.56
西淀川区	2.14	西成区	1.57
平野区	2.13	北区	1.66
東住吉区	2.12	西区	1.74

平成30年10月1日現在推計人口による。

図3 区別1世帯当たり世帯人員



平成30年10月1日現在推計人口による。

6 人口異動（前年 10 月中から当年 9 月中の合計）

(1) 自然動態

平成 30 年の自然動態（出生と死亡の差）は 8280 人の減少となり、平成 29 年の自然動態（7181 人減）と比べると、減少幅は 1099 人拡大した。また、自然増減率は 3.1‰減となっている。

自然増減数を区別にみると、西区が 528 人と最も多く、次いで中央区が 347 人、北区が 253 人、福島区が 144 人など 6 区で増加となっている一方、西成区が 2224 人減と最も少なく、次いで生野区が 1068 人減、平野区が 921 人減、東住吉区が 803 人減と続いている。

自然増減率では、西区が 5.4‰と最も高く、次いで中央区が 3.6‰、北区が 2.0‰と続いている一方、西成区が 20.1‰減と最も低く、次いで生野区が 8.2‰減、大正区が 8.0‰減と続いている。

ア 出生

平成 30 年の出生数は 2 万 1905 人で、平成 29 年（2 万 2142 人）と比べると 237 人の減少となり、出生率は 8.1‰（前年 8.2‰）となっている。

出生数を区別にみると、淀川区が 1562 人と最も多く、次いで城東区が 1522 人、平野区が 1446 人、北区が 1290 人と続いている。出生数が最も少ない区は大正区の 392 人となっている。

出生率では、西区が 11.7‰と最も高く、次いで福島区、中央区が 10.2‰、北区が 10.0‰と続いている。最も低い区は西成区の 4.3‰となっている。

イ 死亡

平成 30 年の死亡数は 3 万 185 人で、平成 29 年（2 万 9323 人）と比べると 862 人の増加となり、死亡率は 11.1‰（前年は 10.9‰）となっている。

死亡数を区別にみると、西成区が 2701 人と最も多く、次いで平野区が 2367 人、生野区が 1859 人、城東区が 1767 人と続いている。死亡数が最も少ない区は天王寺区の 597 人である。

死亡率では、西成区が 24.5‰と最も高く、次いで生野区が 14.3‰、大正区が 14.1‰と続いている。最も低い区は西区の 6.3‰となっている。

ウ 外国人の自然動態

平成 30 年の自然動態のうち、外国人は 353 人の減少となり、平成 29 年の自然動態（279 人減）と比べると、減少幅は 74 人拡大した。

外国人の出生数は 649 人で、平成 29 年（644 人）と比べると 5 人の増加となっており、死亡数は 1002 人で、平成 29 年（923 人）と比べると 79 人の増加となっている。

表6-1 自然動態の推移

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	対前年 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	対前年 (人)	死亡率 (%)
平成20年	△ 1,506	154	△ 0.6	24,028	460	9.1	25,534	306	9.7
21年	△ 1,703	△ 197	△ 0.6	23,346	△ 682	8.8	25,049	△ 485	9.5
22年	△ 3,184	△ 1,481	△ 1.2	23,608	262	8.9	26,792	1,743	10.1
23年	△ 3,945	△ 761	△ 1.5	23,766	158	8.9	27,711	919	10.4
24年	△ 4,337	△ 392	△ 1.6	23,067	△ 699	8.6	27,404	△ 307	10.3
25年	△ 5,305	△ 968	△ 2.0	23,234	167	8.7	28,539	1,135	10.7
26年	△ 5,300	5	△ 2.0	22,810	△ 424	8.5	28,110	△ 429	10.5
27年	△ 5,742	△ 442	△ 2.1	22,972	162	8.6	28,714	604	10.7
28年	△ 5,530	212	△ 2.1	22,968	△ 4	8.5	28,498	△ 216	10.6
29年	△ 7,181	△ 1,651	△ 2.7	22,142	△ 826	8.2	29,323	825	10.9
30年	△ 8,280	△ 1,099	△ 3.1	21,905	△ 237	8.1	30,185	862	11.1

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-2 区別自然動態

区名	自然 増減数 (人)	自然 増減率 (%)	出生数 (人)	出生率 (%)	死亡数 (人)	死亡率 (%)
大 阪 市	△ 8,280	△ 3.1	21,905	8.1	30,185	11.1
北 区	253	2.0	1,290	10.0	1,037	8.0
都 島 区	△ 130	△ 1.2	915	8.6	1,045	9.8
福 島 区	144	1.9	760	10.2	616	8.3
此 花 区	△ 306	△ 4.6	487	7.3	793	11.9
中 央 区	347	3.6	983	10.2	636	6.6
西 区	528	5.4	1,146	11.7	618	6.3
港 区	△ 442	△ 5.5	528	6.5	970	12.0
大 正 区	△ 515	△ 8.0	392	6.1	907	14.1
天 王 寺 区	111	1.4	708	9.0	597	7.6
浪 速 区	△ 72	△ 1.0	611	8.4	683	9.4
西 淀 川 区	△ 228	△ 2.4	777	8.1	1,005	10.5
淀 川 区	△ 127	△ 0.7	1,562	8.7	1,689	9.4
東 淀 川 区	△ 462	△ 2.6	1,285	7.3	1,747	9.9
東 成 区	△ 218	△ 2.7	658	8.0	876	10.7
生 野 区	△ 1,068	△ 8.2	791	6.1	1,859	14.3
旭 区	△ 514	△ 5.6	661	7.3	1,175	12.9
城 東 区	△ 245	△ 1.5	1,522	9.2	1,767	10.6
鶴 見 区	95	0.9	1,109	9.9	1,014	9.1
阿 倍 野 区	△ 298	△ 2.7	879	8.1	1,177	10.8
住 之 江 区	△ 626	△ 5.1	804	6.6	1,430	11.7
住 吉 区	△ 559	△ 3.6	1,166	7.6	1,725	11.2
東 住 吉 区	△ 803	△ 6.4	948	7.5	1,751	13.9
平 野 区	△ 921	△ 4.7	1,446	7.4	2,367	12.1
西 成 区	△ 2,224	△ 20.1	477	4.3	2,701	24.5

1 自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-3 自然増減率、出生率及び死亡率（上位7区）

順位	自然増減率		出生率		死亡率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	西区	5.4	西区	11.7	西成区	24.5
2	中央区	3.6	福島区	10.2	生野区	14.3
3	北区	2.0	中央区	10.2	大正区	14.1
4	福島区	1.9	北区	10.0	東住吉区	13.9
5	天王寺区	1.4	鶴見区	9.9	旭区	12.9
6	鶴見区	0.9	城東区	9.2	平野区	12.1
7	淀川区	△ 0.7	天王寺区	9.0	港区	12.0

自然増減率、出生率、死亡率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

表6-4 自然動態の推移（外国人）

年次	自然増減			出生			死亡		
	増減数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)
平成20年	△ 406	△ 56	△ 16.0	486	△ 25	△ 4.9	892	31	3.6
21年	△ 402	4	1.0	476	△ 10	△ 2.1	878	△ 14	△ 1.6
22年	△ 473	△ 71	△ 17.7	466	△ 10	△ 2.1	939	61	6.9
23年	△ 502	△ 29	△ 6.1	496	30	6.4	998	59	6.3
24年	△ 327	175	34.9	537	41	8.3	864	△ 134	△ 13.4
25年	△ 415	△ 88	△ 26.9	531	△ 6	△ 1.1	946	82	9.5
26年	△ 366	49	11.8	574	43	8.1	940	△ 6	△ 0.6
27年	△ 437	△ 71	△ 19.4	539	△ 35	△ 6.1	976	36	3.8
28年	△ 298	139	31.8	604	65	12.1	902	△ 74	△ 7.6
29年	△ 279	19	6.4	644	40	6.6	923	21	2.3
30年	△ 353	△ 74	△ 26.5	649	5	0.8	1,002	79	8.6

自然増減数、出生数、死亡数は前年10月中から当年9月中の合計である。

（2）社会動態

平成30年の社会動態（転入と転出の差）は2万129人の増加となり、平成29年の社会動態（1万8305人増）と比べると、増加幅は1824人拡大した。また、社会増減率は7.4%となっている。

社会増減数を区別にみると、北区が3458人と最も多く、次いで西区が2242人、淀川区が1989人、西成区が1578人、福島区が1371人など20区で増加となっている一方、鶴見区が390人減と最も少なく、次いで此花区が142人減と続いている。

社会増減率では、北区が26.7%と最も高く、次いで西区が23.0%、福島区が18.4%、東成区が14.6%、西成区が14.3%など、市域中心部で高くなっている一方、鶴見区が3.5%減で最も低く、此花区が2.1%減と続いている。

ア 転入

平成30年の転入数は19万9003人で、転入率は73.3%となっている。

転入数を区別にみると、北区が1万5185人と最も多く、次いで淀川区が1万4802人、中央区が1万3792人、東淀川区が1万2002人、西区が1万1640人と続いている。転入数が最も少ない区は大正区の2609人となっている。

転入率では、浪速区が148.0%と最も高く、次いで中央区が143.0%、西区が119.2%、北区が117.3%と続いている。転入率でも、大正区が40.5%と最も低くなっている。

イ 転出

平成 30 年の転出数は 17 万 5657 人で、転出率は 64.7%となっている。

転出数を区別にみると、淀川区が 1 万 2579 人と最も多く、次いで中央区が 1 万 2121 人、北区が 1 万 1494 人、東淀川区が 1 万 1263 人と続く。転出数が最も少ない区は大正区の 2669 人となっている。

転出率では、浪速区が 134.9%と最も高く、次いで中央区が 125.7%、西区が 95.7%、北区が 88.8%と続いている。転出率でも、大正区が 41.5%と最も低くなっている。

ウ その他増減

平成 30 年のその他増減数（実態調査や帰化等及び国籍喪失等による職権記載・消除者数）は、3217 人減となった。

その他増減数を区別にみると、西成区で 599 人減と最も少なくなっている。

エ 外国人の社会動態

平成 30 年の社会動態のうち、外国人は 6485 人の増加となり、平成 29 年の社会動態（5947 人増）と比べると、増加幅は 538 人拡大した。

外国人の転入及び入国数は 3 万 7208 人となっており、転出及び出国数は 2 万 7150 人で、平成 29 年と比べるといずれも増加となっている。

表 6-5 社会動態の推移

年次	社会増減			転入			転出			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	社会 増減率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転入率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	転出率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成20年	9,800	△ 245	3.7	179,069	△ 1,003	67.8	169,269	△ 758	64.0
21年	11,304	1,504	4.3	181,851	2,782	68.6	170,547	1,278	64.3
22年	9,178	△ 2,126	3.5	177,693	△ 4,158	66.8	168,515	△ 2,032	63.4
23年	9,210	32	3.5	175,872	△ 1,821	66.0	166,662	△ 1,853	62.5
24年	11,133	1,923	4.2	175,509	△ 363	65.8	164,376	△ 2,286	61.6
25年	11,417	284	4.3	177,364	1,855	66.3	165,947	1,571	62.1
26年	8,059	△ 3,358	3.0	178,011	647	66.5	169,952	4,005	63.4
27年	18,726	10,667	7.0	185,808	7,797	69.3	167,082	△ 2,870	62.3
28年	16,378	△ 2,348	6.1	189,981	4,173	70.6	170,232	3,150	63.3	△ 3,371	...
29年	18,305	1,927	6.8	191,414	1,433	70.8	169,774	△ 458	62.8	△ 3,335	36
30年	20,129	1,824	7.4	199,003	7,589	73.3	175,657	5,883	64.7	△ 3,217	118

1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰（パーミル）である。

3 国勢調査以外の年については国勢調査結果により修正を行っているため、人口異動の増減数と前述の人口推移の増減数とは一致しない。

表6-6 区別社会動態

区名	社会増減数 (人)	社会増減率 (%)	転入数 (人)	転入率 (%)	転出数 (人)	転出率 (%)	その他増減数 (人)
大阪市	20,129	7.4	199,003	73.3	175,657	64.7	△ 3,217
北区	3,458	26.7	15,185	117.3	11,494	88.8	△ 233
都島区	465	4.4	7,241	68.0	6,686	62.8	△ 90
福島区	1,371	18.4	6,998	94.1	5,587	75.1	△ 40
此花区	△ 142	△ 2.1	3,327	50.1	3,450	52.0	△ 19
中央区	1,309	13.6	13,792	143.0	12,121	125.7	△ 362
西区	2,242	23.0	11,640	119.2	9,350	95.7	△ 48
港区	453	5.6	4,819	59.4	4,259	52.5	△ 107
大正区	△ 99	△ 1.5	2,609	40.5	2,669	41.5	△ 39
天王寺区	694	8.9	6,625	84.5	5,845	74.6	△ 86
浪速区	713	9.9	10,709	148.0	9,763	134.9	△ 233
西淀川区	459	4.8	5,672	59.4	5,081	53.2	△ 132
淀川区	1,989	11.1	14,802	82.6	12,579	70.2	△ 234
東淀川区	666	3.8	12,002	68.3	11,263	64.1	△ 73
東成区	1,194	14.6	7,652	93.5	6,312	77.1	△ 146
生野区	754	5.8	9,076	70.0	8,230	63.5	△ 92
旭区	517	5.7	5,226	57.4	4,619	50.7	△ 90
城東区	855	5.1	10,319	62.1	9,460	56.9	△ 4
鶴見区	△ 390	△ 3.5	5,007	44.9	5,391	48.3	△ 6
阿倍野区	828	7.6	7,386	68.0	6,375	58.7	△ 183
住之江区	205	1.7	5,529	45.4	5,296	43.5	△ 28
住吉区	570	3.7	8,705	56.8	8,078	52.7	△ 57
東住吉区	549	4.4	7,502	59.5	6,802	53.9	△ 151
平野区	△ 109	△ 0.6	8,774	45.0	8,718	44.7	△ 165
西成区	1,578	14.3	8,406	76.1	6,229	56.4	△ 599

- 1 社会増減数、転入数、転出数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。
- 2 社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-7 社会増減率、転入率及び転出率(上位7区)

順位	社会増減率		転入率		転出率	
	区名	(%)	区名	(%)	区名	(%)
1	北区	26.7	浪速区	148.0	浪速区	134.9
2	西区	23.0	中央区	143.0	中央区	125.7
3	福島区	18.4	西区	119.2	西区	95.7
4	東成区	14.6	北区	117.3	北区	88.8
5	西成区	14.3	福島区	94.1	東成区	77.1
6	中央区	13.6	東成区	93.5	福島区	75.1
7	淀川区	11.1	天王寺区	84.5	天王寺区	74.6

社会増減率、転入率、転出率は前年10月1日現在人口1000人に対する比率で、単位は‰(パーミル)である。

表6-8 社会動態の推移(外国人)

年次	社会増減			転入+入国			転出+出国			その他増減	
	増減数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)	対前年増加率 (%)	実数 (人)	対前年 (人)
平成21年	1,635	△ 617	△ 27.4	20,608	24	0.1	18,973	641	3.5
22年	1,345	△ 290	△ 17.7	20,320	△ 288	△ 1.4	18,975	2	0.0
23年	1,003	△ 342	△ 25.4	21,205	885	4.4	20,202	1,227	6.5
24年	2,313	1,310	130.6	20,793	△ 412	△ 1.9	18,480	△ 1,722	△ 8.5
25年	2,617	304	13.1	20,889	96	0.5	18,272	△ 208	△ 1.1
26年	861	△ 1,756	△ 67.1	22,206	1,317	6.3	21,345	3,073	16.8
27年	6,438	5,577	647.7	25,517	3,311	14.9	19,079	△ 2,266	△ 10.6
28年	5,095	△ 1,343	△ 20.9	30,001	4,484	17.6	20,931	1,852	9.7	△ 3,975	...
29年	5,947	852	16.7	33,701	3,700	12.3	23,516	2,585	12.4	△ 4,238	△ 263
30年	6,485	538	9.0	37,208	3,507	10.4	27,150	3,634	15.5	△ 3,573	665

社会増減数、転入+入国数、転出+出国数、その他増減数は前年10月中から当年9月中の合計である。

7 年齢別人口

(1) 年齢(3区分)別人口

平成30年の人口について年齢(3区分)別割合をみると、0～14歳人口(年少人口)は10.8%、15～64歳人口(生産年齢人口)は63.5%、65歳以上人口(老年人口)は25.8%となっており、15～64歳人口、65歳以上人口の割合が、平成29年(63.4%、25.7%)と比べて上昇している。

表7-1 年齢(3区分)別推計人口

年次	人口(人)					割合(%)				
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	うち
					75歳以上					75歳以上
平成27年	2,691,185	295,298	1,682,798	668,698	317,893	100.0	11.2	63.6	25.3	12.0
28年	2,702,033	295,112	1,715,126	691,795	338,313	100.0	10.9	63.5	25.6	12.5
29年	2,713,157	294,360	1,720,620	698,177	350,113	100.0	10.8	63.4	25.7	12.9
30年	2,725,006	293,702	1,729,348	701,956	359,673	100.0	10.8	63.5	25.8	13.2

- 1 平成27年は国勢調査結果。平成28年以降は10月1日現在年齢別推計人口。
- 2 平成27年の人口総数は年齢「不詳」を含むため、年齢(3区分)別人口の合計と一致しない。
- 3 平成27年の構成比は年齢「不詳」を除いて算出している。
- 4 平成28年以降は年齢「不詳」を各歳に按分している。

(2) 区別の年齢(3区分)別人口

区別の年齢(3区分)別人口を平成29年と比べると、年少人口の増加が最も大きいのは北区の534人で、最も減少が大きいのは平野区の558人減となった。生産年齢人口では、北区の2812人が最も多く、最も減少が大きかったのは住之江区の762人減であった。老年人口では、東淀川区の467人が最も多く、最も減少が大きかったのは西成区の316人減であった。

表7-2 区別の年齢(3区分)別人口

区名	平成30年				平成29年からの増減数		
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上
大 阪 市	2,725,006	293,702	1,729,348	701,956	△ 658	8,728	3,779
北 区	133,123	12,129	95,915	25,079	534	2,812	365
都 島 区	106,858	12,015	68,469	26,374	56	△ 85	364
福 島 区	75,896	8,936	51,863	15,098	158	1,270	88
此 花 区	65,914	7,659	40,282	17,974	△ 147	△ 320	20
中 央 区	98,094	8,957	73,002	16,135	319	1,123	214
西 区	100,437	11,613	72,942	15,881	416	2,066	287
港 区	81,076	8,434	50,045	22,596	△ 151	192	△ 31
大 正 区	63,741	6,794	36,913	20,033	△ 181	△ 452	17
天 王 寺 区	79,177	10,353	52,749	16,075	189	310	307
浪 速 区	72,991	4,933	54,128	13,930	71	499	71
西 淀 川 区	95,749	11,492	59,870	24,387	△ 283	274	240
淀 川 区	180,998	18,174	120,731	42,094	172	1,445	247
東 淀 川 区	176,031	17,218	114,932	43,881	△ 349	85	467
東 成 区	82,857	8,599	53,047	21,210	△ 33	952	56
生 野 区	129,379	11,530	76,402	41,447	△ 161	△ 242	88
旭 区	91,072	9,398	54,336	27,338	12	△ 34	25
城 東 区	166,852	20,308	103,664	42,880	△ 77	457	230
鶴 見 区	111,268	16,644	69,329	25,295	△ 277	△ 234	215
阿 倍 野 区	109,172	13,776	67,281	28,115	160	296	74
住 之 江 区	121,364	12,991	71,433	36,940	△ 78	△ 762	418
住 吉 区	153,361	17,848	92,590	42,923	△ 163	△ 169	343
東 住 吉 区	125,907	14,121	74,624	37,161	△ 98	△ 137	△ 20
平 野 区	193,925	22,441	116,062	55,422	△ 558	△ 481	9
西 成 区	109,764	7,338	58,738	43,688	△ 191	△ 139	△ 316

各年10月1日現在年齢別推計人口。年齢「不詳」は各歳に按分している。

区別の年齢（3区分）別人口の割合をみると、年少人口では鶴見区が15.0%と最も高く、次いで天王寺区が13.1%、阿倍野区が12.6%と続く。最も低いのは西成区の6.7%となっている。

生産年齢人口では中央区が74.4%と最も高く、次いで浪速区が74.2%と続く。最も低いのは西成区の53.5%となっている。

老年人口では西成区が39.8%と最も高く、次いで生野区が32.0%と続く。最も低いのは西区の15.8%となっている。

表7-3 区別の年齢（3区分）別人口割合

区名	平成30年							(ポイント)		
	平成30年			平成29年からの変化						
	総数	0～14歳	15～64歳	65歳以上	0～14歳	15～64歳	65歳以上			
大阪市	100.0	10.8	63.5	25.8	△ 0.07	0.04	0.03			
北区	100.0	9.1	72.0	18.8	0.15	0.11	△ 0.26			
都島区	100.0	11.2	64.1	24.7	0.02	△ 0.28	0.26			
福島区	100.0	11.8	68.3	19.9	△ 0.03	0.32	△ 0.29			
此花区	100.0	11.6	61.1	27.3	△ 0.14	△ 0.07	0.21			
中央区	100.0	9.1	74.4	16.4	0.17	△ 0.11	△ 0.06			
西区	100.0	11.6	72.6	15.8	0.10	0.06	△ 0.15			
港区	100.0	10.4	61.7	27.9	△ 0.19	0.23	△ 0.04			
大正区	100.0	10.7	57.9	31.4	△ 0.18	△ 0.15	0.33			
天王寺区	100.0	13.1	66.6	20.3	0.11	△ 0.29	0.18			
浪速区	100.0	6.8	74.2	19.1	0.04	0.03	△ 0.07			
西淀川区	100.0	12.0	62.5	25.5	△ 0.33	0.14	0.19			
淀川区	100.0	10.0	66.7	23.3	△ 0.01	0.11	△ 0.10			
東淀川区	100.0	9.8	65.3	24.9	△ 0.21	△ 0.03	0.24			
東成区	100.0	10.4	64.0	25.6	△ 0.16	0.40	△ 0.24			
生野区	100.0	8.9	59.1	32.0	△ 0.10	△ 0.04	0.15			
旭区	100.0	10.3	59.7	30.0	0.01	△ 0.04	0.03			
城東区	100.0	12.2	62.1	25.7	△ 0.09	0.05	0.04			
鶴見区	100.0	15.0	62.3	22.7	△ 0.21	△ 0.04	0.25			
阿倍野区	100.0	12.6	61.6	25.8	0.09	△ 0.03	△ 0.06			
住之江区	100.0	10.7	58.9	30.4	△ 0.03	△ 0.42	0.45			
住吉区	100.0	11.6	60.4	28.0	△ 0.11	△ 0.11	0.22			
東住吉区	100.0	11.2	59.3	29.5	△ 0.06	0.01	0.04			
平野区	100.0	11.6	59.8	28.6	△ 0.23	0.07	0.16			
西成区	100.0	6.7	53.5	39.8	△ 0.13	0.19	△ 0.05			

表7-4 年齢（3区分）別人口割合（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	割合（%）	区名	割合（%）	区名	割合（%）
1	鶴見区	15.0	中央区	74.4	西成区	39.8
2	天王寺区	13.1	浪速区	74.2	生野区	32.0
3	阿倍野区	12.6	西区	72.6	大正区	31.4
4	城東区	12.2	北区	72.0	住之江区	30.4
5	西淀川区	12.0	福島区	68.3	旭区	30.0
6	福島区	11.8	淀川区	66.7	東住吉区	29.5
7	住吉区	11.6	天王寺区	66.6	平野区	28.6

平成30年10月1日現在の人口に対する割合である。

表 7-5 年齢（3区分）別人口割合の変化（上位7区）

順位	0～14歳		15歳～64歳		65歳以上	
	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）	区名	変化（ポイント）
1	中央区	0.17	東成区	0.40	住之江区	0.45
2	北区	0.15	福島区	0.32	大正区	0.33
3	天王寺区	0.11	港区	0.23	都島区	0.26
4	西区	0.10	西成区	0.19	鶴見区	0.25
5	阿倍野区	0.09	西淀川区	0.14	東淀川区	0.24
6	浪速区	0.04	淀川区	0.11	住吉区	0.22
7	都島区	0.02	北区	0.11	此花区	0.21

平成29年10月1日現在の人口割合に対する変化である。

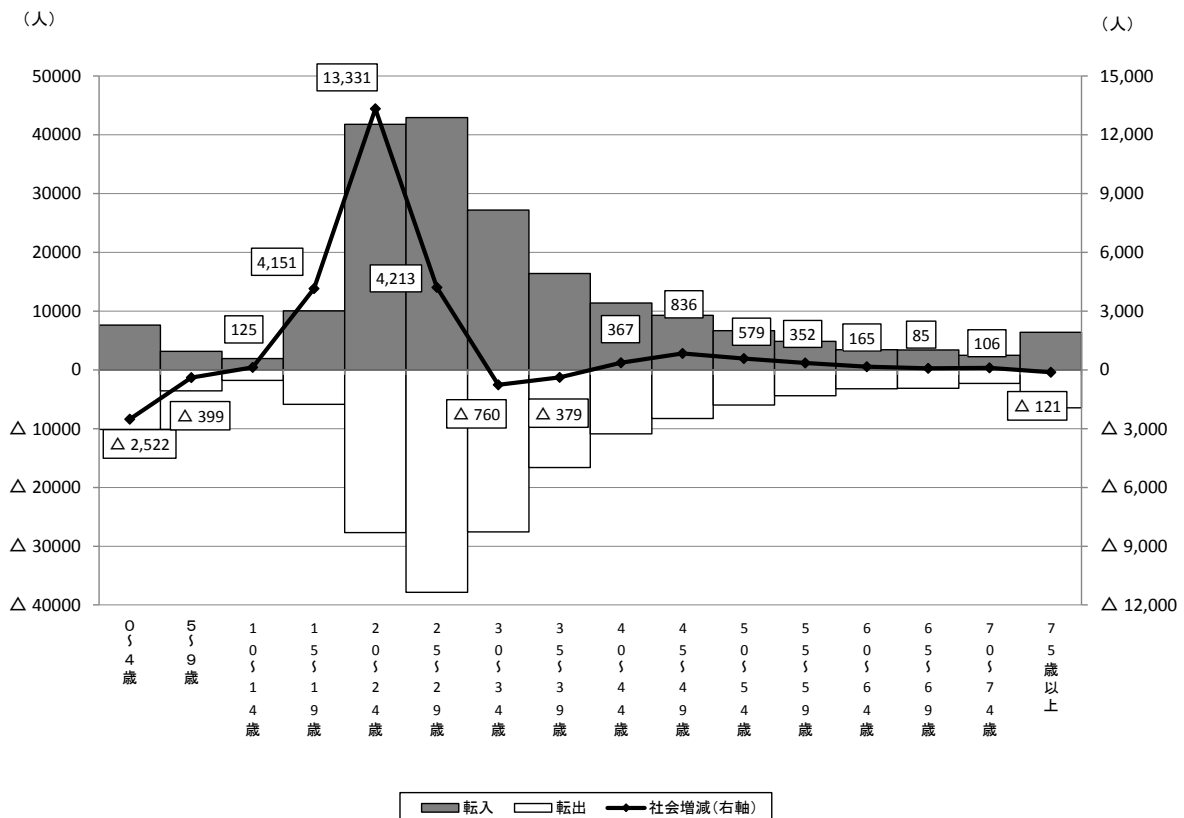
(3) 年齢（5歳階級）別社会動態

平成30年の社会増減を年齢（5歳階級）別にみると、15歳から29歳までの各階級で4000人を超える増加となっており、特に「20～24歳」では1万3331人となっている。これに対して、30歳から39歳及び0歳から9歳までの各階級（世帯形成層・育児層及びその子どもの層）では減少となっている。

表 7-6 年齢（5歳階級）別転入、転出、その他増減及び社会増減数

	(人)							
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳
転入	7,634	3,173	1,942	10,038	41,795	42,942	27,210	16,416
転出	10,138	3,556	1,804	5,853	27,678	37,835	27,568	16,612
その他増減	△ 18	△ 16	△ 13	△ 34	△ 786	△ 894	△ 402	△ 183
社会増減	△ 2,522	△ 399	125	4,151	13,331	4,213	△ 760	△ 379
	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
転入	11,366	9,268	6,682	4,838	3,443	3,401	2,466	6,389
転出	10,862	8,288	5,981	4,396	3,224	3,115	2,308	6,439
その他増減	△ 137	△ 144	△ 122	△ 90	△ 54	△ 201	△ 52	△ 71
社会増減	367	836	579	352	165	85	106	△ 121

図 4 年齢（5歳階級）別社会動態



(4) 区別の年齢(5歳階級)別社会動態

区別の社会増減を年齢(5歳階級)別にみると、15歳から29歳までの各階級合計では淀川区が2436人と最も多く、次いで北区が2281人、西区が2256人、中央区が1750人と続いている。30歳から39歳までの各階級合計では東淀川区が523人減と最も少なく、次いで浪速区が451人減、平野区が218人減、淀川区が182人減、鶴見区が174人減と続いている。

表7-7 区別の年齢(5歳階級)別社会増減数

区名	(人)							
	0~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~24歳	25~29歳	30~34歳	35~39歳
大阪市	△ 2,522	△ 399	125	4,151	13,331	4,213	△ 760	△ 379
北区	△ 177	△ 4	37	245	1,270	766	233	240
都島区	△ 94	△ 5	12	108	440	90	△ 43	41
福島区	△ 81	△ 10	△ 9	60	812	429	146	26
此花区	△ 100	△ 32	△ 1	161	133	△ 112	△ 100	△ 22
中央区	△ 248	△ 18	19	209	1,159	382	△ 82	△ 90
西区	△ 159	△ 12	△ 17	155	1,405	696	78	39
港区	△ 33	△ 21	△ 14	138	499	152	△ 30	△ 10
大正区	△ 2	△ 25	△ 5	29	33	19	△ 50	△ 26
天王寺区	5	80	20	94	221	135	△ 53	142
浪速区	△ 230	△ 65	△ 2	457	1,023	124	△ 263	△ 188
西淀川区	△ 102	△ 32	△ 21	94	397	184	△ 22	△ 27
淀川区	△ 239	△ 32	41	316	1,735	385	△ 85	△ 97
東淀川区	△ 355	△ 94	4	338	1,200	△ 7	△ 292	△ 231
東成区	△ 68	△ 22	7	186	632	320	17	△ 1
生野区	△ 80	△ 24	17	374	608	△ 69	△ 101	△ 65
旭区	△ 31	16	30	129	152	98	9	29
城東区	△ 149	△ 36	△ 18	117	361	366	135	23
鶴見区	△ 121	△ 75	△ 44	△ 16	20	110	△ 40	△ 134
阿倍野区	100	70	31	187	181	37	73	108
住之江区	17	15	16	68	70	62	△ 31	△ 40
住吉区	△ 101	△ 16	22	152	350	28	△ 137	△ 21
東住吉区	△ 20	21	6	89	160	20	22	△ 11
平野区	△ 211	△ 32	4	94	129	△ 51	△ 132	△ 86
西成区	△ 43	△ 46	△ 10	367	341	49	△ 12	22
区名	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75歳以上
大阪市	367	836	579	352	165	85	106	△ 121
北区	290	244	158	84	31	20	33	△ 12
都島区	14	△ 39	△ 8	1	△ 4	△ 12	11	△ 47
福島区	11	7	15	20	1	△ 35	9	△ 30
此花区	△ 8	11	13	△ 1	△ 4	△ 11	△ 8	△ 61
中央区	△ 36	163	△ 24	△ 24	1	△ 8	△ 11	△ 83
西区	33	56	15	6	△ 35	△ 1	△ 17	0
港区	△ 12	△ 20	△ 39	△ 1	△ 24	△ 26	△ 25	△ 81
大正区	6	6	1	△ 14	△ 18	△ 15	3	△ 41
天王寺区	45	8	△ 23	6	△ 5	△ 4	1	22
浪速区	△ 92	△ 15	33	△ 40	△ 7	△ 6	△ 30	14
西淀川区	△ 15	△ 9	22	△ 27	△ 18	△ 3	△ 13	51
淀川区	10	63	78	20	16	△ 106	△ 25	△ 91
東淀川区	△ 121	△ 27	55	59	63	22	9	43
東成区	107	21	21	38	20	8	△ 17	△ 75
生野区	△ 10	△ 4	△ 13	36	△ 24	△ 17	△ 32	158
旭区	31	32	△ 8	28	21	△ 7	△ 10	△ 2
城東区	5	57	48	23	△ 41	21	△ 7	△ 50
鶴見区	△ 47	△ 6	△ 37	△ 31	△ 14	7	23	15
阿倍野区	71	34	0	△ 25	30	5	10	△ 84
住之江区	6	9	22	△ 13	△ 21	△ 13	34	4
住吉区	20	39	37	△ 7	31	52	12	109
東住吉区	36	29	40	29	△ 26	13	2	139
平野区	△ 49	26	△ 1	42	54	44	57	3
西成区	72	151	174	143	138	157	97	△ 22